

## 2023 年度 事業報告書

法人の名称 NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

### 1. 事業活動方針と目的

この法人は、神奈川県内を中心とした外国につながる子どもたちとその周囲の人たちに対して、外国につながる子どもたちに必要な教育や多文化共生教育に関する事業を行い、多文化共生社会実現を目指した子どもの人権擁護、健全育成及び社会教育の推進に寄与することを目的とする。

### 2. 事業内容

#### 特定非営利活動に係る事業

#### ① 外国につながる子どもたちのための教育・進路支援に関する事業

##### (ア) 日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンスの実施事業

###### ■ 内容

ガイダンスは神奈川県教育委員会高校教育課との協働事業として、県内6か所で実施した。

実施に当たっては、高校進学希望者(中学3年生と既卒者)及びその保護者・家族・支援者を対象として、予約制をとって実施した。

また、ホームページに「ガイダンス特設ページ」を設置し、8月から公開した。内容は、やさしい日本語+10言語での高校入試紹介や先輩の体験談動画、日本語での在県卒高校の紹介動画や資料、学習教室や奨学金の紹介資料を掲載した。

小中学校の教員及び支援者向けに、オンラインでの「高校入試情報交換会」を3回(7/19、8/25、8/26)実施した。

###### ■ 日時 ① 9月18日 川崎市国際交流センター

② 9月23日 横浜市西公会堂

③ 10月1日 平塚市立江陽中学校

④ 10月9日 アミューあつぎ

⑤ 10月15日 さがみはら国際交流ラウンジ

⑥ 10月22日 大和市立渋谷中学校

###### ■ 場所

県内6カ所(川崎市、横浜市、平塚市、厚木市、相模原市、大和市)

###### ■ 対象者

高校進学希望者(中学3年生と既卒者)及びその保護者・家族・支援者など 454人

###### ■ 従事者(人数はすべて延べ)

【参加者総数 728人】内訳 子ども・保護者・支援者 454人、通訳 89人

高校教員 75人、教育委員会 14人、スタッフ他 96人

###### ■ 決算額

2,202,513円(含ガイドブック事業)

##### (イ) 公立高校入学のためのガイドブック(多言語)の作成・配付事業

###### ■ 内容

『公立高校入学のためのガイドブック』の編集、翻訳、配付を行った。

ガイドブックは10言語(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、韓国朝鮮語、タイ語、カンボジア語、ネパール語及びベトナム語)と日本語との対訳で、県教育委員会と協働で6,500部作成し、神奈川県内の公立中学校や公共施設等に配付した。

###### ■ 日時

4月-5月 編集作業、県内市町村教育委員会へ中学校の言語別必要数調査

6月－7月 翻訳作業、印刷

7月初旬 県内各中学校及び公共施設等へ送付

■ 場 所

県内全域

■ 対象者

外国につながる公立高校進学希望者(中学生等)及び保護者・支援者

■ 従事者

編集 6名 翻訳・翻訳チェック 20名

■ 決算額

ガイダンス事業に合算

(ウ) かながわ外国人教育相談の実施事業

■ 内 容

1) 教育相談

外国につながるの児童生徒あるいは就学前の子どもの教育に関する相談や大学進学に関する相談など幅広く相談を受ける場を設け、電話あるいは来所によって相談員が相談を受けた。必要に応じて通訳を手配した。依頼に応じて教育相談関連会議に相談員が参加した。相談事例の検討及び相談員の情報共有のため、サポート会議を12回実施した。

2) 高校生の在留資格と進路に関する相談・支援体制(プロジェクトK)

10名のスタッフ、弁護士4名の協力体制で取り組んだ。2023年度は5回の会議を行い情報共有と現状分析を行った。

■ 日 時 ■ 場 所

1) 教育相談

【定期相談】

①毎月第2、第4土曜日 10:00～13:00(祝日を除く)

横浜市多文化共生総合相談センター(YOKE内) 23回実施。相談件数 37件。

②毎月第4木曜日 13:30～15:30(予約制。予約が入った月のみ派遣)

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 10回実施。相談件数 15件。

③毎週月・水・金 10:00～17:00(祝日を除く)

ME-net 事務局(受付・相談)5回実施。相談件数 5件。

【随時相談】依頼に応じ、県内数カ所。27回実施。相談件数 27件。

【あーすぷらざ・ME-net 教育相談合同会議】

2023年10月28日(土) オンライン(Zoom) 8名参加

【外国につながる子ども支援のための関係機関連絡会】

2023年10月20日(金) 1名参加

【神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会】

2024年1月31日(水) 1名参加

2) 高校生の在留資格と進路に関する相談・支援体制(プロジェクトK)

【ビザ(在留資格)のトラブル、当事者向け相談会、出前授業】

【ビザ相談会(在留資格・法律相談)】

① 相談対応について

日常的に適宜相談を受け付け、その都度対応した。2024年2月4日に、「フォーラム南太田」にて高校生・若者対象のビザ相談・法律相談会を実施し、神奈川県弁護士会派遣の4名の弁護士、神奈川県行政書士会派遣の2名の行政書士が相談に当たった。2023年11月23日の就職相談会には、在留資格についての相談ブースで相談対応を行った。弁護士2名、行政書士2名。

② 合計相談受付件数、相談の概要について

2月4日の相談会では、高校生7名、上級学校在籍者1名、日本の学校に行っていない者1名の合計9名が来場した(相談時は支援者のほか、一部保護者も同席)。また11月23日就職相談会や年間を通じた合計相談件数は県外からの相談を含め、48人に及んだ。

相談者は中学生:3名、高校生:29名、大学生:1名、日本の学校にアクセスしていない人:4名、社会人・無所属:8名、本国:3名。「家族滞在」の相談は18件、それ以外は「留学」「特定活動」「定住者」。相談者の国籍・地域はネパール、フィリピン、ベトナム、中国、スリランカ、ブラジル、コンゴ民主共和国、アフガニスタン、アメリカ、モンゴル、イラン、ペルー、タイ、ナイジェリア、クルド、トルコ。日本への入国時の条件、家族の状況など、「家族滞在」の救済措置(1455通知)に該当しない相談者からの相談が8件に及び目立った。

### ③ 県立学校職員への研修会の実施

県教育委員会とME-netの共催、および神奈川県弁護士会、神奈川県行政書士会の協力により、7月26日、及び12月5日に「外国籍生徒の進路と在留資格についての研修会」を行った。

### ④ 中央行政への働きかけについて

2023年11月14日、「NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク」の省庁交渉の教育課題の部、文部科学省、法務省あての要請行動に参加し、「家族滞在」等の不安定な在留資格により、日本で学校が継続できない問題について指摘し、改善を求めた。「家族滞在」等の在留資格で滞在している若者が上級学校で奨学金の対象となるように要請し、その結果2024年度より一部奨学金の対象者が拡大された。

## ■ 従事者

- 1)相談員12名 通訳:相談員の他、必要に応じ、YOKE、みなみラウンジ等に依頼。
- 2)相談員及びスタッフ10名、通訳6名、弁護士5名、行政書士2名

## ■ 決算額

322,335円

## (エ)外国につながる高校生への学習等支援事業

(多文化教育コーディネーターの派遣)

## ■ 内容

神奈川県内の高校31校に多文化教育コーディネーター・サポーターを派遣し、各高校の実態に応じ、高校との協議の上、授業時間内あるいは放課後の時間帯に外国につながる生徒に対する支援活動を行った。派遣校の内訳としては、神奈川県教育委員会「日本語を母語としない生徒支援者派遣事業」との協働派遣校28校(30課程)及びME-net独自派遣校3校(3課程)。

コーディネーター間の情報共有及び研修のため、コーディネーター会議を対面で1回実施した(8/6)。また、オンラインで少人数にコーディネーターをわけての地域ごとのブロック会議を行った(7/6、7/15、7/20、7/30、8/17、8/26、8/30、9/7、9/9、9/30)。

## ■ 日時

通年

## ■ 場所

・県立高校:28校(30課程)

橋本、鶴見総合、横浜翠嵐(定)、愛川、希望ヶ丘(定)、平塚湘風、座間総合、横浜修悠館、湘南(定)、神奈川総合、相模向陽館、磯子工業(全・定)、釜利谷、田奈、川崎(全・定)、横浜清陵、大師、大和南、伊勢原、相模原弥栄、鶴嶺、厚木清南(定)、横浜旭陵、新栄、高浜、藤沢総合、横浜明朋、横須賀(定)

・市立高校:3校

横浜市立みなと総合、横浜市立横浜総合、川崎市立川崎(定)

- 対象者  
外国につながるのある高校生
- 従事者  
多文化教育コーディネーター45名、サポーター61名
- 決算額  
2,061,770円

(オ)外国につながる子ども支援のためのネットワーク会議

- 内容  
ME-net と神奈川県教育委員会高校教育課との協働事業で、外国につながる子どもたちの支援に関わる県行政機関と県内NPO等9団体が集まり、現状や課題について認識を共有するとともに、それぞれの強みを生かし、連携して支援にあたることを目的としている。

【会議の議題】

(報告とアピール)

- 1)「令和4年度神奈川県公立小・中学校における外国につながるのある児童・生徒在籍状況調査」に基づく県内の状況について(子ども教育支援課)
- 2)「外国籍県民オープン会議」について(国際文化観光局国際課)
- 3) 県立川崎高校での「地域人材による生徒支援事業」の取組・・・「(高校入学前の)プレスクール」と「土曜教室(日本語&教科学習)」・・・について(高校教育課国際・情報教育グループ)  
(市民団体からの活動紹介と全体ディスカッション)

- 日時 2023年12月15日
- 場所 かながわ県民サポートセンター301号会議室
- 参加者 25名

参加機関・団体:

神奈川県教育委員会教育局 指導部 高校教育課 国際・情報教育グループ  
 神奈川県教育委員会教育局 支援部 子ども教育支援課 小中学校生徒指導グループ  
 神奈川県国際文化観光局 国際課 外国籍県民支援グループ  
 公益財団法人 かながわ国際交流財団 多文化共生・協働推進グループ  
 公益財団法人 横浜市国際交流協会 多文化共生推進課  
 公益財団法人 川崎市国際交流協会 交流事業課  
 公益社団法人 青年海外協力協会 多文化共生チーム  
 社会福祉法人 青丘社  
 NPO法人 ABCジャパン  
 特定非営利活動法人 日本ペルー共生協会  
 さがみはら国際交流ラウンジ(相模原市国際課)  
 多文化活動連絡協議会  
 認定NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ  
 情報提供:東洋大学社会学部社会福祉学科准教授 村上一基さん  
 講評:元法政大学教授 山田泉さん

- 従事者  
5名(会議の運営に当たったスタッフ)
- 決算額  
1,910円

(カ) 外国につながる若者交流事業

■ 内容

外国につながる中学生や高校生同士の交流を深めることを目的に、例年は6月にオルタボイス交流会、11月にオルタボイスキャンプ、3月にオルタボイスフェスタを実施してきた。コロナ禍で中止が続いていたが、2023年度はコロナ禍以前と同様、6月に交流会、11月に1泊2日でキャンプを行った。

■ 日時 ■ 場所 ■ 参加者

【オルタボイス交流会】 6月3日(土)13:00-16:30 横浜清陵高校多目的教室  
参加者計76名(生徒43、卒業生7、スタッフ・引率26)

【オルタボイスキャンプ】 11月11日(土)・12日(日)野島青少年研修センター  
参加者計60名(生徒32、卒業生7、スタッフ・引率21)

【オルタボイスフェスタ】 計画なし

■ 決算額

172,379円

(キ) たぶんかフリースクールよこはまの運営事業

■ 内容

下記対象者など高校進学を希望している生徒に対し、日本語及び受検のための教科指導・進路指導を行った。インターネット出願への変更の影響を大きく受け、振り回された一年となったが、進路を中心としたスタッフの努力や工夫、綿密な計画に沿った進路指導などで何とか乗り切った。日本語だけでなく、数学・英語などの教科学習においても、母国で受けた教育等の状況によって理解度の差が大きく、例年以上に厳しい状況であったが、グループ分けや教材の選択、進度の工夫などで日々連携を取りながら進めた。受検後の学習では初めての試みとして横浜市防災センターに行った。元日の能登半島地震の影響もあり、真摯に防災学習に取り組む生徒たちの姿が見られた。様々な事情を背負って来日し、複雑な家庭環境の中で困難を抱える生徒も多かったが、生徒自身の努力と多くの方の支援を受けて、全員合格を成し遂げた。

■ 日時

1日5時間で週3日 年間約100日+夏季・冬季補習

■ 場所

横浜市南区 浦舟複合福祉施設内

■ 対象者 ■ 参加者

外国の中学校を卒業した人 28名 (つながる国の内訳:中国 20 フィリピン6 ネパール2)  
\*2名家庭の事情により退学(つながる国:トルコ1・アメリカ1)

■ 従事者

26名及び通訳

■ 決算額

6,444,292円

(ク) 「多文化学習活動センター(CEMLA)」に関する事業

■ 内容

相模原弥栄高校及び下記県央地区の県立高校9校との連携において、相模女子大学構内に設置する多文化学習活動センター(CEMLA)に日本語指導者及びコーディネーターを派遣している。今年度も相模女子大学茜館とユニコムプラザさがみはらが会場となった。中学生・高校生・既卒生が参加をしているが1年を通して中学生の学習者が増えた。ここで勉強をしている学習者が自分の中学校で友達に紹介し参加をし始めることが多くあった。学習支援・情報提供・教育相談を行った。日本語スタッフだけでは対応しきれないところを、大学生ボランティアをはじめ多くのボランティアの方々と県立高校教員と

協力し、教室を運営することができた。月に1度、読解コミュニケーショングループを作り学習者とボランティアがそれぞれ意見交換をし、楽しそうに話し合う姿も多く見られた。県教育委員会から相模原弥栄高校に配当される日本語指導及びスタッフの件費とME-netの予算で運営した。  
連携する県立高校：相模原弥栄、愛川、伊勢原、橋本、座間総合、大和南、相模向陽館、厚木清南定時制/通信制、神奈川総合産業定時制、横浜修悠館

■ 日 時

1日2時間で週1回(土曜日)41回実施

■ 場 所

相模女子大学茜館、ユニコムプラザさがみはら(1月のみ)

■ 対象者

相模大野周辺に在住する外国につながる中学生や高校生、既卒生

■ 参加者(学習者)

延べ 586 名

■ 従事者

日本語スタッフ 10 名、ボランティア延べ 285 名、県立高校教員延べ 117 名

■ 決算額

129,465 円

(ケ) キャリア支援事業(定時制高校等でのキャリア支援)

A…2022年度より新規事業として相模向陽館高校での朝食提供が加わった。

B…清心内海塾助成金を受け、キャリア支援及び就職相談会を行った。

■ 内 容

A…2019年度まで実施してきたボランティア活動推進基金 21 による定時制でのキャリア支援(ひまわりカフェ)を、2020～2021年度は自主事業として継続実施してきた。2022年度からは神奈川県教育委員会からの業務委託として「相模向陽館高校での朝食提供」(朝カフェ)が加わった。

B…清心内海塾の助成金を受け、生活困窮家庭の生徒向けに食糧支援や学資支援を行った。

■ 日時・場所

A…ひまわりカフェ(食糧支援)10回、朝カフェ62回(朝食提供午前部31回、午後部31回)

場所は相模向陽館高校

B…11月23日 就職相談会 場所は羽田タートルサービス株式会社本社ビル会議室

■ 対象者

A…相模向陽館高校の外国につながる高校生を中心とした定時制の高校生

B…生活困窮家庭の高校生、及び就職に困難を抱えている高校生や若者

■ 内 容

A…ひまわりカフェは、12時20分～14時20分までの間にお菓子や飲み物を提供し、毎回の参加者は50名～120名。

朝食提供(朝カフェ)は、座間社協の協力を得て、地域ボランティアを募集し、8名の方がスタッフ参加してくれた。朝食は、パンと飲料を提供した。(パンは、オギノパン、障がい者自立支援センター希望の家、マクドナルドの3か所から購入)

ひまわりカフェと朝カフェを通して、生徒との良好なコミュニケーションの構築を図り、気軽に相談できる環境を作った。

ひまわりカフェの参加生徒数延べ 1,016 名、朝カフェの参加生徒数延べ 5,599 名

B…生活困窮家庭の高校生に対して食糧支援や学資支援を行った。対象生徒は12名。及び11月23日に就職相談会を行った。参加企業 10 社、相談者 15 名、一般見学者7名

■ 従事者

A…ひまわりカフェ 延べ 45 名、朝カフェ 延べ 288 名

**【連携団体】**

子どもと生活文化協会(県央地域若者サポートステーション)、エンパワメントかながわ、おてらおやつクラブ、ワンエイド、スペースナナ、やまゆり生協、座間社協、県央福祉会他  
B…スタッフ(弁護士2名、行政書士2名、他 13 名)

■ 決算額

3,679,946 円

(コ) 愛川町学習支援教室(令和5年度生活困窮世帯学習支援・居場所づくり事業)

■ 内容

神奈川県厚木保健福祉事務所からの委託による生活困窮家庭の子どもの学習支援居場所づくり事業として下記のように実施した。

・学習支援教室(アミーゴ・フォーエバー教室) 年間 41回実施

学習者の参加 延べ429名

・居場所づくり イベントを5回実施

学習者の参加 延べ56名

・24名中、22名が外国籍の子どもであった。外国育ちの両親と日本育ちの子どもたちの複雑な家庭が多く、家庭内のコミュニケーションや子どもたちの母語を大事にしながら活動を行った。高校受検生3名は全員合格した。

・毎回学習終了後スタッフの報告意見交換で、より多く情報共有を図りながら、子どもたち一人ひとりが自主的に学習に臨んだり、自信を持ったりできるよう配慮しながら取り組んだ。

・東海大学 Beijo me liga サークル(小貫大輔教授)のメンバーや医学部の先生、助産婦の協力により、性教育のワークショップ教室を開催した。

・地域の団体や人とのつながりを大事にし、子どもたちが地域に見守られながら成長できる居場所になるよう環境作りに取り組んだ。

■ 日時

学習教室 毎週木曜日 18:00~20:00 イベント 随時

■ 場所

愛川町 中津公民館(レディースプラザ)他

■ 対象者 ■ 参加者

生活困窮者世帯の子ども 20 名

■ 従事者

スタッフ4名、学習支援ボランティア15名

■ 決算額

2,068,750 円

(サ) 県立川崎高校における高校生向け日本語学習等支援拠点教室

(令和5年度地域人材による生徒支援業務)

■ 内容

神奈川県教育委員会の委託を受け、県立川崎高校において、川崎地区及び横浜北東地区の県立高校(31校)で学ぶ日本語指導が必要な高校生を対象とした日本語及び学習支援教室を実施した。4つの高校(県立川崎高校、大師高校、鶴見総合高校、横浜翠嵐高校定時制)には日本語指導員が配置され、高校との連携を図った。日本語指導が必要な高校生が、日本語を学び学校生活の定着を図ることで、高校中退の予防や卒業後の進路保障につなげた。また、3月には高校入学前の高校生を対象として10日間のプレスクールを実施した。

■ 日時

学校授業中の毎週土曜日及び夏休み期間 10:00~12:00、13:00~15:00(47日 94回)

3月のプレスクール 10:00~12:00、13:00~15:00(10日 20回)

■ 場 所

県立川崎高校

■ 対象者

川崎・横浜北東地区の県立高等学校の生徒

プレスクールでは川崎・横浜北東地区の県立高等学校の入学予定者を含む。

■ 参加者

生徒延べ1,104名

■ 従事者

日本語指導者、スタッフ、通訳等延べ1,019名

内、大学生ボランティアとして、慶應義塾大学、東洋大学、神奈川大学、明治大学他の学生

■ 決算額

3,953,076円

② 多文化共生教育にかかわる啓発・提言に関する事業

(ア) 多文化共生教育支援事業

■ 内 容

多文化共生に関する講演会や研修会の企画運営、講師派遣、運営委員等の会議参加、原稿執筆等。

【派遣先等】

県立高校 7件

大学、学会関係 15件

養護学校・小学校 2件

教育委員会 3件

行政機関 12件

国際交流関係 16件

その他 4件

(延べ59件)

■ 従事者

延べ61名

■ 決算額

593,330円

(イ) 翻訳等事業

■ 内 容

就学支援金や奨学給付金の翻訳について、県教育委員会の委託を受け、多言語資料の作成を行った。

高等学校等就学支援金2件(各10言語)

高校生等奨学給付金1件(各10言語)

■ 対象者

県内公立高校の生徒、受検者、保護者、支援者等

■ 従事者

翻訳従事者延べ36名

■ 決算額

426,543円

(ウ) その他



ME-net 独自あるいは他団体との連携において、多文化共生の推進に資する調査・分析・提言

- ① 「日本語指導が必要な高校生の進路と校内の支援にかかわるアンケート調査」(2022 年度 3 月卒業生対象、神奈川県教育委員会、公益財団法人かながわ国際交流財団との協働)  
ME-net からは、理事2名、会員有志3名が参加し、調査の分析、報告書の作成に当たった。調査に当たっては対象高校の調査担当と多文化教育コーディネーターの協力を得た。調査報告書は(公財)かながわ国際交流財団のホームページに掲載されている。
- ② 相模原人権施策審議委員に、ME-net より、金愛蓮さんを推薦。6月1日に本村健太郎相模原市長より委嘱。
- ③ 第 2 回差別についての学習会(ME-net 会員向け)  
川崎市産業振興会館にて。対面、オンライン。6月25日(日)14時~16時 参加者 27名  
講演「みんなで考える気づきにくい偏見や差別ーマイクロアグレッションって何??!!ー」  
講師 渡辺雅之さん
- ④ 相模原市人権尊重のまちづくり条例に関する声明「相模原市をすべての子どもたちが安心して生活できる街にしてください」(12月27日)を発信。
- ⑤ クルド難民の写真展  
主催:ME-net 協力:「クルド難民 M さんを支援する会」「在日クルド人とともに」  
1月19~20日に相模原市民ギャラリーにて「写真展 在日クルド人は今 in 相模原」を実施。従事者9名。二日間で延べ140名来場。  
3月23~24日に横浜のかながわ県民サポートセンターで「写真展 在日クルド人は今 in 横浜」を実施。従事者8名。二日間で、延べ231名来場。
- ⑥ 高校入試に関する全国調査の実施  
外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会に理事1名が参加し、高校入試における特別措置や特別枠の設置状況、及び高校入学後の支援などに関する全国調査を行った。対象は47都道府県と12の政令都市・中核都市。調査報告は下記の首都圏中国帰国者交流・支援センターに掲載されている。  
[https://www.kikokusha-center.or.jp/shien\\_joho/shingaku/kokonyushi/other/2023/koko-top.htm](https://www.kikokusha-center.or.jp/shien_joho/shingaku/kokonyushi/other/2023/koko-top.htm)
- ⑦ 第23回高校進学・進路ガイダンス主催者全国交流会に参加  
1月21日に関西国際大学で行われた、第23回高校進学・進路ガイダンス主催者交流会に理事2名が参加した。

■ 決算額

169,005 円